



米商進路だより

令和3年7月1日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第5号）

《 新たな始まり（挑戦する勇気と決断） 》

1学期期末考査が始まりました。4月からの登校日数は55日となり、一人ひとりが目標を持って始まった令和3年度の3分の1が終了しようとしています。月日が経つのが早いと感じる人はどれくらいいますか。毎日が慌ただしい日々ではあるものの、1日1日が「楽しかった」「面白かった」と言えるような充実した日々になることを願っています。

さて、本校では昨年度より自分の学校生活を振り返るために「キャリアパスポート」を導入し、授業や学校行事などについてまとめることにしています。1年生は、初めての簿記や情報処理等の商業科目に挑戦、2年生はインターンシップ代替事業の企業見学、3年生は進路実現を意識した各種検定試験への挑戦等、4月当初の志を高く持った意欲が継続できたか今こそ検証すべきです。

本日より求人票がWeb上に公開になりました。本校では、県内および県外から届く求人票を整理し7月6日（火）から生徒の皆さんに閲覧をしていただきます。就職希望者は担任との二者面談を実施し、受験企業を絞り込む訳ですが、求人票を見るポイントとしては、「給与」水準だけでなく「離職率の低さ」「残業時間の有無」等を参考に自分がどんな仕事に向いているのか考えてみるのが大事です。

令和3年度 求人件数 米沢管内（職種別 6月1日～25日迄）

	管理	専門技術	事務	生産工程	販売	サービス	その他
件数	0	32	12	129	15	27	14
求人数	0	55	25	323	35	81	32

※ 高校生求人倍率は2.08倍となっています。

《 近況報告（令和3年3月卒業生からのおたより 其の2） 》

丁寧語、尊敬語、謙譲語を理解し正しい言葉遣いを身に付けておくことが大切です。誤った言葉遣いで相手に誤解や不快な思いをさせることがないように日頃から心がけておくことが大切だと思います。

お久しぶりです。入社して約2ヶ月が経ちましたが、通勤や仕事にも徐々に慣れ、毎日同僚や上司の方々と楽しく過ごしています。私の場合、PCを使う仕事を選んだため、高校でのPCについての知識やタイピングスキルはとても役に立っています。

年の離れた人たちと交流する機会が想像以上に多くなるので今のうちに様々な世代の人と話をすることで、コミュニケーション力や対応力が身に付いて就職した時に困らないと思います。

※ 東京に就職した人は緊急事態宣言中は自宅研修が続いていたそうです。

《 3年生保護者進路説明会 》

6月25日（金）に3年生の保護者（参加者90名余）に対して、受験の手続きを含めた進路説明会を実施し、米沢市のハローワーク所長から地元就職の魅力等についても話をいただきました。ホテル・旅館・飲食といったサービス業では求人票が減っていますが、半導体を中心とした製造業は「売り手市場（高校生有利）」になっている現状を知ってほしいとおっしゃっていました。

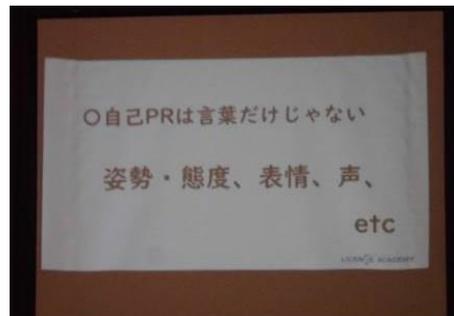
また、進学希望者は卒業後の姿を想像してみてください。自分に先行投資をすることになりますので、「やりたいことを追求」するのは大切なことですが、卒業後のあるべき姿を想像できないと後悔をしてしまうかもしれないのです。納得のいく受験ができるように、家庭でよく話し合い、三者懇談等を通じて志望校（志望企業）検討をしっかりと行ってほしいと思います。



《 3年生面接ガイダンス 》

6月29日にライセンスアカデミー所属の横関信太郎先生から面接指導をいただきました。面接をするときに、「面接の相手は未来を想像したい」という話は印象的でした。そのためには、「自分の過去と現在」を把握し、どんな自分になりたいのかを説明することが求められており、「なんとなく」や「とりあえず」という抽象的な言葉が出てくるようでは合格内定が遠のいてしまう話は現実感がありました。

今回のガイダンスの中で3年生の人の話を聞く姿勢が大変立派になっていたことに大きな成長を感じました。一所懸命にメモを取り、面接に活かそうとする姿勢は進路実現を間近に控えた受験生だからこそできる技なのかもしれませんが、講師の言葉を自分の力でまとめることは、「生きる力」が身についている証拠です。メモ力が身につくことで受験の準備が出来ることを実感しとても嬉しくなりました。



内面	⇒	志望の動機や自己PRをしっかりと自分を売り込む
外見	⇒	清潔感・元気・明るさをアピールするのは第一印象